

注意喚起:新型コロナウイルスによる肺炎の発生(その2)

令和2年1月30日
在サイパン領事事務所

1 1月28日, 米国疾病予防管理センター(CDC)は,米国での新型コロナウイルスの感染症例が5例となった旨発表しました。また,米国内の20空港で検疫を強化し,中国への渡航警告レベルを3に引き上げ,不急不要の中国への渡航は控えるよう呼び掛けています。さらに,ユナイテッド航空は28日,中国行きフライトを一時運休すると発表しましたが,北マリアナ諸島においても,同政府が中国行きフライトを近日中に運休すると発表しました。

2 各国政府当局等からは,新型コロナウイルスの感染症例が報告されており,29日時点で,日本を含む18の国・地域で5,900例以上の症例が確認されています。日本においても,7件の感染症例が見つかり,武漢に渡航歴のない日本人の感染が初めて確認されました。

3 WHOは,1月23日に開催した緊急委員会の結果,中国でのリスクは非常に高く,地域的及び世界的なリスクも高いと評価しました。また,中国では感染者の介護をしている家族や医療従事者に限定されているとしながらも,ヒトからヒトへの感染があるとしています。現時点で新型コロナウイルスのワクチンはなく,ワクチンの開発には時間がかかります。感染が更に拡大する可能性があり,常に最新情報を入手し,予防に努めてください。

中国における感染例数等についての最新情報：
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_009.html

4, 在留邦人の皆様が日常生活を送るに当たっては,デマに惑わされることなく,睡眠,栄養及び休養に留意し,下記の措置をとってください。

- ・こまめに石鹸で手洗い,うがいをする。
- ・生きた動物を扱う市場に出入りしない。
- ・人混みにむやみに立ち入らない。
- ・マスクを着用する際には,鼻から顎まで覆い,隙間のないように着用する。
- ・武漢に渡航歴のある人と面会後に発熱するなど,新型コロナウイルス感染症が疑われる際には,いきなり病院に向かわず,予め電話等で受診を予告してから訪問する。

【参考:国立国際医療研究センターの感染症専門医による解説】

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/>